
令和 4 年度

入学者選抜に
関する要項

2022

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

令和4年度入学者選抜に関する要項

1. 大学憲章と活動指針	1
2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
3. 卒業後の資格	4
4. 学部・学科・専攻及び入学定員・募集人員	4
5. 一般選抜（公立大学中期日程）	
(1) 選考日程	5
(2) 出願資格	5
(3) 大学入学共通テスト	6
(4) 実技検査等	7
(5) 配点	8
6. 学校推薦型選抜	
(1) 出願要件	9
(2) 選考方法	11
(3) 配点	11
7. 身体に障がいのある入学志願者との事前相談	12
8. 学生募集要項の発表等	12
9. その他	12

令和5年度入学者選抜について【予告】

1. 学部・学科・専攻及び入学定員・募集人員	13
2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	13
3. 卒業後の資格	14
4. 一般選抜	14
5. 学校推薦型選抜	18

令和4年度入学選抜に関する要項

1. 大学憲章と活動指針

大学憲章 Mission Statement

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

活動指針 Mission Policies

＜創作の意欲と能力を育てる教育の推進＞ Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。

＜質の高い研究とオリジナリティの追求＞ Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

＜地域と世界に貢献する芸術活動の展開＞ Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

＜自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展＞ Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。

2. 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

金沢美術工芸大学は、工芸美術の継承発展と地域の文化と産業の振興に寄与すべく1946年に創立されました。以来、個性豊かな教育・研究活動に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担いつつ、美術・工芸・デザイン界で活躍する数多くの人材を輩出してきました。

金沢美術工芸大学は、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」（大学憲章）を育成することを社会から負託された使命であると考え、次の3つの教育目標を掲げています。

1. 地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。
2. 深く芸術の神髄を探究し、美術・工芸・デザイン分野における卓越した知識と技術を継承することによって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化を担う人材の育成を目指す。
3. 市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核として、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する人材の育成を目指す。

このような教育目標に共鳴し、美術・工芸・デザイン分野における知識と技術の担い手となる意欲と資質を備え、積極的に勉学に取り組む主体性のある人を金沢美術工芸大学は求めています。

入学を希望する諸君に金沢美術工芸大学が望むのは、デッサン等の実技能力を養っておくことに加え、高等学校までの各教科・科目をできる限りしっかりと習得しておくことです。広い視野と基礎的な学力があつてはじめて、自らの問題意識を掘り下げて、より高度な制作・研究に進むことが可能になります。一般選抜試験では、すべての専攻が大学入学共通テストにおいて「国語」及び「外国語」を必須の試験科目として課しています。入学後の授業では、制作課題のプレゼンテーションやレポートなど、言語による表現が要求されます。また、筋道立てて読みとる読解力はあらゆる学問・情報に接近するために不可欠な基礎的能力だと考えます。

金沢美術工芸大学では、各専攻がその理念と教育方針に応じて、入学者選抜試験における教科・科目及び実技、小論文、面接等の要件を設定し、明確な目的意識をもった人の入学を求めて「求める学生像」を公表しています。また、美術科芸術学専攻とデザイン科の全専攻と工芸科では学校推薦型選抜を実施しています。

学修に必要な技能と基礎的な学力を備え、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」を目指して勉学に励むことができる人を金沢美術工芸大学は広く受け入れます。

美術科

美術科では、高度で創造的な技術の修得とその応用をはかり、古典から現代までをつらぬく美術理論を学びます。各専攻はそれぞれの専門にふさわしい目標を定め、特色あるカリキュラムを編成しています。将来、作家や研究者をはじめ、これからの美術分野で活躍し、貢献する人材の育成を目指しています。

このことから、美術科では次のような人を求めます。

日本画専攻

- ・ 絵画に関する基礎的な描写・表現力や観察力並びに知識を有する人
- ・ 芸術について強い興味と意欲があり、将来広く美術の応用面に携わる事を望む人
- ・ 将来、作家として広く国内外で活躍したいと希望する人

油画専攻

- ・ 絵を描く事が好きで、自己表現に向けて努力できる人
- ・ 基礎的技術を高め、知識を深めたい人
- ・ 国際的な美術の動きに興味を持っている人

彫刻専攻

- ・造形の「美」や「表現」に対して強い好奇心と探求心を持つ人
- ・「自然」や「素材」と素直に向き合い、粘り強く制作に取り組める人
- ・開かれた世界で活躍する強い意志と夢を持った人

芸術学専攻

- ・美術の歴史や現状を、理論と実技の両面から探究するための基礎がある人
- ・芸術の歴史、理論、技法のさまざまな領域において、専門的研究を展開できる人
- ・研究成果を社会と地域に還元し、また国際的に貢献する意欲のある人

デザイン科

デザイン科は、それぞれの専門分野における教育をより高度なものとしつつ、3つの専攻にわたって連携した教育を行っています。グローバル化、多様化の進む現代の社会において、デザインの世界を広く眺めながら、優れた専門性を発揮できる人材の育成を目指しています。

このことから、デザイン科では次のような人を求めます。

視覚デザイン専攻

- ・ものを創ることが何よりも好きで、アイデアを考えることが楽しくて仕方がない人
- ・柔軟性と独創性に優れ、自己の能力と技術を磨くことに喜びを感じる人
- ・コミュニケーション能力を持ち、デザインを通して社会との関わりを大切にする人

製品デザイン専攻

- ・自らの手で、ものづくりすることが好きで基礎的な表現力を備えている人
- ・人や生活道具への関心が高い人
- ・デザイナーとして社会で活躍することへの意欲を持っている人

環境デザイン専攻

- ・場所の特性を理解する力、発想力、アイデアの展開力を磨こうとする人
- ・空間デザインに興味を持ち、そこで様々な演出を試そうとする人
- ・金沢のまちを舞台として、デザイン能力を高め、世界に羽ばたこうとする人

工芸科

工芸科は、1年次で様々な素材に触れる体験から基礎的な造形力を養います。2年次以降は陶磁、漆・木工、金工、染織のいずれかの領域を選択し、各々の素材に関する多様な技術の習得、現代の社会的ニーズに適応したより高度なものづくりや造形表現に取り組みます。4年間を通して世界に発信する工芸作家、研究者、デザイナーの養成を目指しています。

このことから、工芸科では次のような人を求めます。

- ・基礎的な表現力を有し、工芸に対し幅広く関心を持つ人
- ・素材、技法、表現に対して、柔軟な対応力を有する人
- ・将来、工芸を通して広く国内外で活躍したいと希望する人

3. 卒業後の資格

- (1) 本学を卒業する者には、学士（芸術）の学位が授与されます。
- (2) 教職に関する専門教育科目を履修し、美術科またはデザイン科を卒業した者には、中学校教諭１種免許状（美術）、高等学校教諭１種免許状（美術）が与えられます。また、教職に関する専門教育科目を履修し、工芸科を卒業した者には、中学校教諭１種免許状（美術）、高等学校教諭１種免許状（美術）、高等学校教諭１種免許状（工芸）が与えられます。
- (3) 博物館に関する専門教育科目を履修し、本学を卒業した者には、学芸員となる資格が与えられます。
- (4) 環境デザイン専攻を卒業した者には、二級建築士受験資格（実務経験不要）と、商業施設士補（講習会受講が必要）の資格が与えられます。

4. 学部・学科・専攻及び入学定員・募集人員

学 部 ・ 学 科		専 攻	入 学 定 員	募 集 人 員	
				一般選抜	学校推薦型 選抜
美 術 工 芸 学 部	美 術 科	日 本 画	1 5	1 5	—
		油 画	2 5	2 5	—
		彫 刻	1 5	1 5	—
		芸 術 学	1 5	1 0	5
		小 計	7 0	6 5	5
	デザイン科	視覚デザイン	2 0	1 8	2
		製品デザイン	2 0	1 8	2
		環境デザイン	2 0	1 8	2
		小 計	6 0	5 4	6
	工 芸 科		2 0	1 8	2
合 計		1 5 0	1 3 7	1 3	

5. 一般選抜（公立大学中期日程）

(1) 選考日程

学 科	専 攻	試験日程	最終合格発表
美 術 科	日 本 画	令和4年3月9日，3月11日	令和4年3月20日
	油 画	令和4年3月10日，3月11日	
	彫 刻	令和4年3月11日，3月12日	
	芸 術 学	令和4年3月9日	
デザイン科	視覚デザイン	令和4年3月13日，3月14日	
	製品デザイン	令和4年3月12日，3月14日	
	環境デザイン	令和4年3月11日，3月12日	
工 芸 科		令和4年3月12日，3月14日	

(2) 出願資格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和4年度大学入学共通テストを受験した者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和4年3月31日までに合格見込みの者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個人の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

※出願資格⑦により出願しようとする者は、事前に事務局に相談し、令和3年9月3日（必着）までに本学事務局に所定の書類を提出してください。

(3) 大学入学共通テスト

全専攻において、3教科3科目（理科の「基礎を付した科目」を選択する場合は4科目）の受験が必要です。なお、過年度成績を利用することはできません。

学 科	専 攻	区 分	教 科	科 目
美術科	日本画 油画 彫刻	必修 2教科	国 語	「国語」
			外 国 語	「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択
	デザイン科 視 覚 デザイン 製 品 デザイン 環 境 デザイン	選 択 1教科	地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」
			公 民	「政治・経済」「倫理、政治・経済」 から1科目選択
			数 学	① 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 から1科目選択
				② 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目選択
			理 科	① 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 から2科目選択
				② 「物理」「化学」「生物」「地学」 から1科目選択
美術科	芸術学	必修 3教科	国 語	「国語」
			外 国 語	「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択
			地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 から1科目選択 ※受験科目に注意してください。 ※2科目受験をする場合、上記4科目の中から第1解答科目 として1科目を選択し、受験してください。

※外国語で英語を選択した者は必ずリスニングを受験してください。

リスニングを受験しなかった場合は失格とします（ただしリスニング免除者を除く。）。

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

(4) 実技検査等

学 科	専 攻	実技検査等
美 術 科	日 本 画	実技試験Ⅰ（鉛筆写生） 実技試験Ⅱ（着彩写生及び面接）
	油 画	実技試験（木炭デッサン又は鉛筆デッサン） 作品提出（油彩又はアクリル） 面接
	彫 刻	実技試験Ⅰ（木炭デッサン又は鉛筆デッサン） 実技試験Ⅱ（塑造及びスケッチ）
	芸 術 学	実技試験（鉛筆デッサン）及び面接 ※出願時に選択 小論文及び面接
デザイン科	視覚デザイン	実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン） 実技試験Ⅱ（色彩構成及び作品説明・面接）
	製品デザイン	実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン） 実技試験Ⅱ（製品のデザイン及び作品説明・面接）
	環境デザイン	実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン） 実技試験Ⅱ（立体構成及び作品説明・面接）
工 芸 科		実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン） 実技試験Ⅱ（色彩表現及び面接）

※ 本学の実技検査等は、実技試験Ⅰ及び実技試験Ⅱを課し、実技試験Ⅰの合格者のみ実技試験Ⅱを受験することができます（美術科油画専攻及び芸術学専攻を除く。）。

(5) 配点

学科・専攻		実技Ⅰ	実技Ⅱ	大 学 入 学 共 通 テ ス ト							合 計
				国 語	外国語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	計	
美 術 科	日 本 画	700 点	700 点	200 点	200 点	(200 点)	(200 点)	(200 点)	(200 点)	600 点	2000 点
	油 画	実技試験 700 点 作品提出・面接 700 点									
	彫 刻	700 点	700 点								
	芸 術 学	実技試験・面接 又は 小論文・面接 800 点		400 点	400 点	(400 点)	－	－	－	1200 点	2000 点
デ ザ イ ン 科	視 覚 デザイン	700 点	700 点	200 点	200 点	(200 点)	(200 点)	(200 点)	(200 点)	600 点	2000 点
	製 品 デザイン										
	環 境 デザイン										
工 芸 科		700 点	700 点	200 点	200 点	(200 点)	(200 点)	(200 点)	(200 点)	600 点	2000 点

※ () は選択科目を示し、選択科目の中から最高得点を得た 1 科目の成績を採用します。

ただし、地理歴史、公民及び理科（基礎を付した科目を選択する場合は 2 科目で 1 科目扱いとします。）において 2 科目受験した場合は、第 1 解答科目の成績を採用し、判定の対象とします。

※選択科目は、成績 100 点満点を 200 点満点（芸術学専攻は 400 点満点）に換算します。

※美術科芸術学専攻は、国語及び外国語（英語を除く）の成績 200 点満点を 400 点満点に換算します。

※外国語において、英語を受験した場合は、リーディング 100 点満点を 160 点満点（芸術学専攻は 320 点満点）に換算し、リスニング 100 点満点を 40 点満点（芸術学専攻は 80 点満点）に換算します。

ただし、リスニング免除者はリーディング 100 点満点を 200 点満点（芸術学専攻は 400 点満点）に換算します。

※美術科彫刻専攻の実技試験Ⅱの配点は、塑造 500 点、スケッチ 200 点とします。

※日本画専攻、デザイン科及び工芸科の実技試験Ⅱの配点は、面接の評価を含めています。また、油画専攻は作品提出に面接の評価を含め、芸術学専攻は実技試験又は小論文に面接の評価を含めています。

6. 学校推薦型選抜

(1) 出願要件

学科・専攻	出願要件
美術科	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降に卒業した者を含む。） (2) 外国において学校教育における12年の課程を令和4年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月31日までに修了見込みの者 ※なお、石川県枠（2人）により受験する者の出願資格は、石川県に所在する高等学校を令和4年3月卒業見込みの者とする。 ※(2)(3)により受験する者の出願資格は、令和3年4月1日以降に修了した者とする。 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、 学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) 国語と外国語の成績が優れ、歴史の学習に関心が強いことが特に求められる。 (2) 本学において、美学・美術史の調査・研究に熱意を持ち、多様な美術実技の修得に意欲があり、なおその上で芸術文化の教育普及に関心がある者 (3) 学校長が、上記2の(1)(2)の本専攻が望む学生像に合致していると判断し、向学心、人物、能力、素質及び健康等について適性と認める者 (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は、2人までとする。

学科・専攻		出願要件
デザイン科	視覚デザイン	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者 (令和3年4月以降に卒業した者を含む。) (2) 外国において学校教育における12年の課程を令和4年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月31日までに修了見込みの者 ※(2)(3)により受験する者の出願資格は、令和3年4月1日以降に修了した者とする。 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) デザイン・工芸・美術関係の分野において特に秀でている者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 志望する専攻分野について明確な問題意識を持ち、熱意を持って勉強しようと考えている者 (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は、1専攻ごとに若干名とする。
	製品デザイン	
	環境デザイン	
工芸科		1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者 (令和3年4月以降に卒業した者を含む。) (2) 外国において学校教育における12年の課程を令和4年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月31日までに修了見込みの者 ※(2)(3)により受験する者の出願資格は、令和3年4月1日以降に修了した者とする。 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) 工芸・美術・デザイン関係の分野において特に秀でている者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 工芸に対して幅広く関心を持ち、熱意を持って勉強しようと考えている者 (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は若干名とする。

(2) 選考方法

学科・専攻		選考方法
美術科	芸術学	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書、志望の動機書を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、小論文と面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、志望動機、入学後の学習計画、小論文、デッサン作品（1点）等について口頭説明を求める。
デザイン科	視覚デザイン 製品デザイン 環境デザイン	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書等提出書類及び作品の写真を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、実技試験と面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、志望動機、提出作品、実技作品等について口頭説明を求める。
工芸科		1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書等提出書類及び作品の写真を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、実技試験と面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、志望動機、提出作品、実技作品等について口頭説明を求める。

(3) 配点

学科・専攻		第1次選考	第2次選考	合計
美術科	芸術学	200点	800点	1000点
デザイン科	視覚デザイン	200点	800点	1000点
	製品デザイン			
	環境デザイン			
工芸科		500点	500点	1000点

7. 身体に障がいのある入学志願者との事前相談

身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）がある本学入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に事務局に相談し、出願前に事前相談申請書等を提出してください。

なお、事前相談は、次のとおりとします。

(1) 相談の時期

学校推薦型選抜：募集要項発表後から令和3年10月1日(金)まで

一般選抜：募集要項発表後から令和3年12月17日(金)まで

(2) 相談の方法

事前相談申請書（本学所定の様式に健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る在籍（出身）学校関係者等との面接等を行います。

8. 学生募集要項の発表等

(1) 発表時期

令和4年度学生募集要項は、以下の時期に発表する予定です。

名 称	発表時期
令和4年度学生募集要項（学校推薦型選抜）	令和3年7月下旬
令和4年度学生募集要項（一般選抜）	令和3年10月中旬

(2) 確認方法

学校推薦型選抜及び一般選抜は、いずれもインターネットによる出願となります。

学生募集要項は、本学ホームページからPDFファイルをダウンロードしてください。

※印刷物は制作していないため、資料請求はできません。

<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/admission/admission-info/>



9. その他

・新型コロナウイルス感染症等の影響により、今後、本要項に記載している内容を変更する場合があります。最新情報は学生募集要項及び本学ホームページを確認してください。

現在、設置構想中のため、内容は
今後変更となる可能性があります。

令和5年度入学選抜について【予告】

1. 学部・学科・専攻及び入学定員・募集人員

学部・学科		専攻	入学定員	募集人員	
				一般選抜	学校推薦型選抜
美術工芸学部	美術科	日本画	15	15	—
		油画	25	25	—
		彫刻	15	15	—
		芸術学	<u>10</u>	<u>7</u>	<u>3</u>
		小計	65	62	3
	デザイン科	<u>ホリスティックデザイン</u>	<u>40</u>	<u>40</u>	—
		<u>インダストリアルデザイン</u>	20	18	2
		小計	60	58	2
	工芸科		<u>30</u>	<u>24</u>	<u>6</u>
	合計		155	144	11

2. 入学受入方針（アドミッション・ポリシー） ※変更のある専攻のみ記載

美術科 芸術学専攻

- ・複雑で多様な現代社会における芸術に対して高い関心と問題意識を持つ人
- ・領域横断的な実技制作や論理的思考による視覚文化研究の双方に取り組める人
- ・世界への広い興味と好奇心を持ち、地域より成り立つ国際社会に貢献する意欲のある人

デザイン科 ホリスティックデザイン専攻

- ・あらゆる事や物に好奇心を持ち、思考を止めず、手を動かし続けることができる人
- ・人と関わることが好きで、多様な意見を柔軟に取り入れ、自分の答えを見出す人
- ・金沢のまちを学びの場として、デザインの力で世界をよりよくしたいと願う人

デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

- ・自らの手で、ものづくりをすることが好きで基礎的な表現力を備えている人
- ・人や生活、プロダクトへの関心が高く、コミュニケーションに積極的な人
- ・デザイナーとしてグローバルに活躍することへの意欲を持っている人

3. 卒業後の資格

環境デザイン専攻を卒業した者には、二級建築士受験資格（実務経験不要）及び商業施設士補（講習会受講が必要）の資格が与えられていましたが、環境デザイン専攻の廃止に伴い、今後これらの資格は与えられません。

4. 一般選抜（公立大学中期日程）

（1）大学入学共通テスト

全専攻において、3教科3科目（理科の「基礎を付した科目」を選択する場合は4科目）の受験が必要です。なお、過年度成績を利用することはできません。

学 科	専 攻	区 分	教 科		科 目
美 術 科	日 本 画	必 修 2教科	国 語		「国語」
			外 国 語		「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択
	油 画	選 択 1教科	地理歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」
			公 民		「政治・経済」「倫理、政治・経済」 から1科目選択
	彫 刻		数 学	①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 から1科目選択
				②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 から1科目選択 「簿記・会計」「情報関係基礎」
	ホリステック デ ザ イン		理 科	①	「物理基礎」「化学基礎」 から2科目選択 「生物基礎」「地学基礎」
				②	「物理」「化学」「生物」「地学」 から1科目選択
デザイン科	インダ ストリアル デ ザ イン				
工 芸 科					
美 術 科	芸 術 学	必 修 3教科	国 語		「国語」
			外 国 語		「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 から1科目選択
			地理歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 <u>「地理A」「地理B」</u> から1科目選択 ※受験科目に注意してください。 ※2科目受験をする場合、上記6科目の中から第1解答科目として1科目を選択し、受験してください。

※外国語で英語を選択した者は必ずリスニングを受験してください。

リスニングを受験しなかった場合は失格とします（ただしリスニング免除者を除く。）。

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

(2) 実技検査等

学 科	専 攻	実技検査等		試験時間
美術科	日 本 画	実技試験Ⅰ（ <u>着彩描写</u> ）		7 時間
		実技試験Ⅱ（ <u>着彩写生</u> 及び面接）		7 時間 3 0 分
	油 画	実技試験（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）		7 時間
		作品提出（油彩又はアクリル）		—
		面接		—
	彫 刻	実技試験Ⅰ（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）		6 時間
		実技試験Ⅱ（塑造及びスケッチ）		7 時間 3 0 分
	芸 術 学	<u>実技試験（鉛筆デッサン）及び小論文</u>		<u>6 時間</u>
		<u>ポートフォリオ提出</u>		—
		<u>面接</u>		—
デザイン科	ホリスティック デザイン	<u>実技試験</u>	<u>（鉛筆デッサン）</u>	<u>4 時間</u>
			<u>（色彩構成）</u>	<u>3 時間 3 0 分</u>
			<u>（立体構成）</u>	<u>3 時間 3 0 分</u>
	インダストリアル デザイン	<u>実技試験</u>	<u>（鉛筆デッサン）</u>	<u>5 時間</u>
			<u>（色彩表現）</u>	<u>3 時間 3 0 分</u>
			<u>（立体表現）</u>	<u>3 時間 3 0 分</u>
工 芸 科		実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン）		5 時間
		実技試験Ⅱ	<u>（色彩表現）</u>	<u>5 時間</u>
			<u>（立体表現）</u>	<u>5 時間</u>

※日本画専攻、彫刻専攻及び工芸科では、二段階選抜を行い、実技試験Ⅰの合格者のみ実技試験Ⅱを受験することができます。

※油画専攻、芸術学専攻、ホリスティックデザイン専攻及びインダストリアルデザイン専攻では、二段階選抜を行いません。全受験者がすべての試験を受験することとなります。

(3) 配点

学科・専攻		実技検査等	大学入学共通テスト							合 計
			国 語	外 国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	計	
美術科	日本画	実技試験Ⅰ 700点 実技試験Ⅱ 700点								
	油画	実 技 試 験 700点 作品提出・面接 700点	200点	200点	200点※	200点※	200点※	200点※	600点	2000点
	彫 刻	実技試験Ⅰ 700点 実技試験Ⅱ 700点 (塑造 500点 スケッチ 200点)								
	芸術学	実 技 試 験 250点 小 論 文 250点 ポ ー ト フ ォ リ オ 提出 300点 面 接 300点	300点	300点	300点※	—	—	—	900点	2000点
デザイン科	ホリスティックデザイン	実技試験 1400点 (鉛筆デッサン 400点) (色彩構成 500点) (立体構成 500点)	200点	200点	200点※	200点※	200点※	200点※	600点	2000点
	インダストリアルデザイン	実技試験 1400点 (鉛筆デッサン 600点) (色彩表現 400点) (立体表現 400点)								
工 芸 科		実技試験Ⅰ 600点 実技試験Ⅱ 800点 (色彩表現 400点 立体表現 400点)	200点	200点	200点※	200点※	200点※	200点※	600点	2000点

注1 ※は選択科目を示し、選択科目の中から最高得点を得た1科目の成績を採用します。

ただし、地理歴史、公民及び理科（基礎を付した科目を選択する場合は2科目で1科目扱いとします。）において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を採用し、判定の対象とします。

注2 選択科目は、成績100点満点を200点満点（芸術学専攻は300点満点）に換算します。

注3 美術科芸術学専攻は、国語及び外国語(英語を除く)の成績200点満点を300点満点に換算します。

注4 外国語において、英語を受験した場合は、リーディング100点満点を160点満点（芸術学専攻は240点満点）に換算し、リスニング100点満点を40点満点（芸術学専攻は60点満点）に換算します。

ただし、リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点（芸術学専攻は300点満点）に換算します。

(4) 採点・評価基準

学科・専攻		採 点 ・ 評 価 基 準	
美術科	日本画	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフと条件に基づいて、モチーフを的確に把握・認識し、構成・表現する基礎的描写力。
		実技試験Ⅱ	○提示されたモチーフに対する粘り強い観察力。本質を豊かに表現する力。それらを分かりやすく伝える力。
	油 画	実技試験	○提示されたモチーフの観察に基づいて、形態・立体感を表現する力。
		作品提出	○提示された課題に基づいて、色彩・実在感を表現する力。
		面 接	○提出する作品について分かりやすく伝える力。
	彫 刻	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを的確に把握し表現する基礎的なデッサン力。
		実技試験Ⅱ	○提示されたテーマ、条件に基づいた塑造の創作力。スケッチによる構想力。制作意図を文章化する能力。
	芸術学	実技試験	○提示されたモチーフをデッサンする基礎力。そのデッサンから多様な形式展開をする発想力。
		小 論 文	○提示された課題をもとに、具現化できそうな作品案・企画案・プロジェクト案等を構想し、コンセプトを立ててまとめる思考力及び表現力。
		ポートフォリオ提出	○作品制作・展示企画・調査に対する発想力、表現力及び展開力など。
		面 接	○プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力。
	デザイン科	ホリスティックデザイン	鉛筆デッサン
色彩構成			○提示されたテーマに対して理解し、独創的な発想をする力。構成力と色彩感覚を表現する力。
立体構成			○提示された問題内容を読み解く力。独創的な発想をする力。考えを立体造形として表現する力。
インダストリアルデザイン		鉛筆デッサン	○提示されたモチーフの形や大きさ、質感などを的確に表現する力。
		色彩表現	○提示された問題内容を理解し、構想を色彩により表現する力。
		立体表現	○提示された問題内容を理解し、考えを立体として表現する力。
工 芸 科	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを、条件に従い形態・質感・空間に配慮し総合的に表現するデッサン力。	
	実技試験Ⅱ	○提示された問題内容の理解力、構成力、発想力及び独創性。色彩による表現力及び立体造形力。	

5. 学校推薦型選抜

(1) 出願要件

学科・専攻		出願要件
美術科	芸術学専攻	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者（令和4年4月以降に卒業した者を含む。） (2) 外国において学校教育における12年の課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者 ※(2)(3)により受験する者の出願資格は、令和4年4月1日以降に修了した者とする。 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) 国語と外国語の成績が優れ、歴史や<u>地理</u>の学習に関心が強い者 (2) <u>現代思想・視覚文化の研究に興味があり、領域横断的な多形式表現の制作やキュレーションに挑戦する意欲のある者</u> (3) 学校長が、向学心、人物、能力、素質及び健康等について適性と認める者 (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は、<u>若干名</u>とする。
デザイン科	インダストリアルデザイン専攻	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者（令和4年4月以降に卒業した者を含む。） (2) 外国において学校教育における12年の課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年3月31日までに修了見込みの者 ※(2)(3)により受験する者の出願資格は、令和4年4月1日以降に修了した者とする。 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) デザイン・工芸・美術関係の分野において特に秀でている者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 志望する専攻分野について明確な問題意識を持ち、熱意を持って勉強しようと考えている者 (4) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は、若干名とする。

学科・専攻	出願要件
工 芸 科	1 出願資格 次のいずれかに該当する者とする。 (1) 高等学校又は中等教育学校の<u>卒業生及び令和5年3月卒業見込みの者</u> (2) 外国において学校教育における12年の課程を<u>修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者</u>又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定し、又は指定した在外教育施設の当該課程を<u>修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者</u> 2 推薦要件 次のいずれにも該当し、学校長が責任を持って推薦できる者とする。 (1) 工芸・美術・デザイン関係の分野において特に秀でている者 (2) 工芸に対して幅広く関心を持ち、熱意を持って勉学しようと考えている者 (3) 合格した場合、必ず本学に入学することを確約できる者 なお、1校から推薦できる人数は若干名とする。

(2) 選考方法

学科・専攻	選考方法
美術科 芸術学専攻	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書、志望の動機書を審査して合格者を決定する。 <u>第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、持参したポートフォリオと面接によって合格者を決定する。</u> なお、面接においては、志望動機、入学後の学習計画、ポートフォリオの内容等について口頭説明を求める。
デザイン科 インダストリアル デザイン専攻	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書等提出書類及び作品の写真を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、実技試験と面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、志望動機、提出作品、実技作品等について口頭説明を求める。
工 芸 科	1 大学入学共通テストを免除する。 2 選考は、第1次選考及び第2次選考により行う。 第1次選考は、推薦書、調査書等提出書類及び作品の写真を審査して合格者を決定する。 第2次選考は、第1次選考の合格者に対して、実技試験と面接によって合格者を決定する。 なお、面接においては、志望動機、提出作品、実技作品等について口頭説明を求める。

(3) 第2次選考の実施方法

学科・専攻	実施方法
美術科 芸術学専攻	面接：志望動機、入学後の学習計画、ポートフォリオの内容等について口頭説明
デザイン科 インダストリアル デザイン専攻	実技試験：製品のデザイン 面接：志望動機、提出作品、実技作品等の口頭説明
工芸科	実技試験：立体表現 面接：志望動機、提出作品、実技作品等の口頭説明

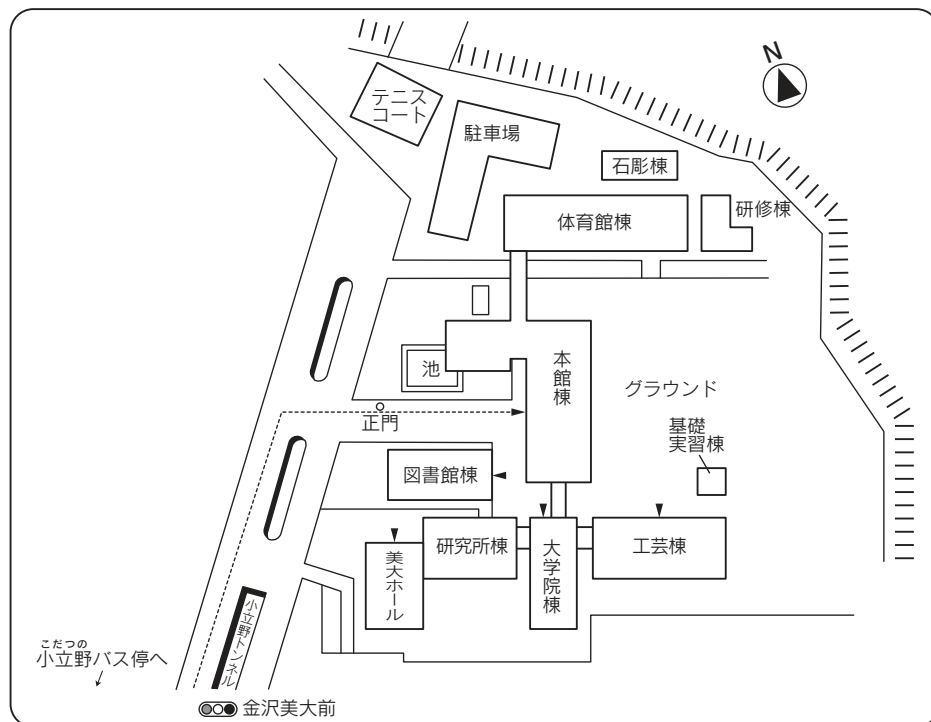
(4) 配点

学科・専攻	第1次選考	第2次選考	合計
美術科 芸術学専攻	200点	800点	1000点
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻	200点	800点	1000点
工芸科	500点	500点	1000点

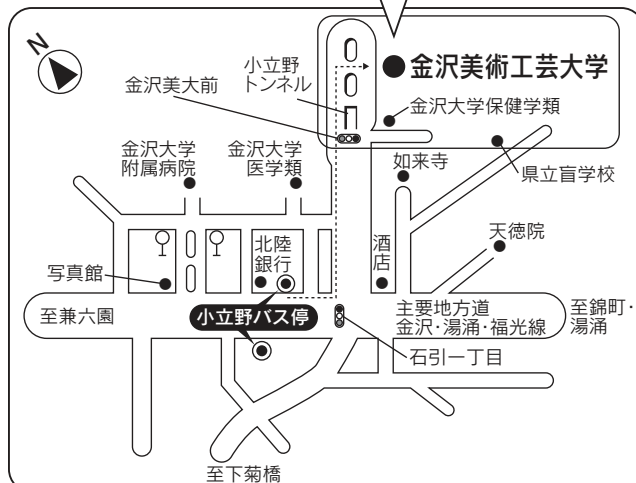
(5) 採点評価基準

学科・専攻	採点・評価基準	
美術科 芸術学専攻	第1次選考	○高校での幅広い知識の獲得、クラブ活動・課外活動などの積極性、語学の資格、また、志望動機と入学後の学習計画など、総合的に評価。
	第2次選考	○ポートフォリオ：作品制作・展示企画・調査に対する発想力、表現力、展開力など。 面接：プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力。
デザイン科 インダストリアル デザイン専攻	第1次選考	○学習態度と能力、デザインに対する意識及び基礎的なデッサン力・表現力。
	第2次選考	○提示された製品を与えられた条件によってデザインし、それを分かりやすく表現し伝える力。
工芸科	第1次選考	○基本的なデッサン力、色彩による表現力、発想力及び独創性などを総合的に評価。
	第2次選考	○立体造形力、構成力、発想力、独創性、作品について伝える力を総合的に評価。

●キャンパス レイアウト



●交通アクセス



大学への交通

●電 車／金沢駅下車

●バ ス／金沢駅兼六園口 バスターミナル6番のりば

- ⑪東部車庫行、⑪金沢学院大学行、
- ⑫湯涌温泉行、⑫北陸大学薬学部行、⑫北陸大学太陽が丘行、
- ⑬駒帰行（乗車約25分）

金沢駅兼六園口 バスターミナル7番のりば

- ⑬湯谷原行（乗車約25分）

金沢駅金沢港口 バスターミナル5番のりば

- ⑩東部車庫行、⑬湯谷原行（乗車約25分）

いずれのバスも「小立野（こたつの）」で下車してください。（徒歩約8分）

タクシー／金沢駅から約20分

●自動車／北陸自動車道

金沢森本ICから約15分

金沢西ICから約25分

●航空機／小松空港から

バス／リムジンバス（乗車約40分）

金沢駅下車

（乗り換え、兼六園・金沢港口から電車の場合に同じ）



金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学

〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

5-11-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa
920-8656 Japan
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>

